

【遊びの経過】

人形遊びやごちそう作りでは、「行ってきます。」「ただいま。」「〇〇店で買ってきた。」など身近な生活を再現して笑顔で遊ぶ姿が見られる。友だちの発した言葉に应答するなど友達同士のやりとりが増えてきた。

【ねらい】

友だちや保育者とやりとりしながら一緒にごっこ遊びを楽しむ。

【〇幼児の活動

★環境の構成

■保育者の援助】

★ままごと遊びや人形遊びに期待が持てるように玩具や用具を見える所に置く。また、遊びのスペースを広く用意しておく。また、皿・茶碗・コップ・鍋などの道具は出し入れしやすいように配置しておく。

〇好きな遊びをする。

<ままごと遊びコーナー>

何しようかな。

【期待】



はやく遊びたいなあ。【意欲】

〇〇ちゃん一緒に遊ぼうか。【人との関わり】

ごちそうを作ろう。【意欲】

おもしろいなあ。【夢中】

できたよ。【自信】

塩をいれよ。【好奇心】

スパゲティーとコーヒーだよ。【満足感】



<人形遊びコーナー>

行ってきます。【人とのかかわり】

ただいま。【人とのかかわり】

熱が出たんだって。【思いやり】

薬をあげたらいいが。【提案】



■友達が持っている玩具を使いたい場合には、どのように話せばよいのか子どもたちと一緒に考える。

■自分で意欲的に道具を見つけたり遊び始めたりする子どもを見守っていく。

■ごちそうを作ってもらって嬉しい気持ちや「また、食べたいなあ。」「次は、〇〇をください。」などの言葉のやりとりをして遊びの意欲が持てるように言葉かけをする。

■遊びが見つからず傍観している子には「ジュースをください。」「何を作ったの。」などの言葉かけをして遊びのきっかけを与えていく。

■「赤ちゃん、嬉しそうだね。」「ちゃんと服着てるかなあ。」「熱が出ちゃったのかな。」「大丈夫かな。」など遊びのイメージが広がるように言葉かけをしていく。

■優しく世話をする姿を周りの友だちにも知らせながら十分に褒めていく。

【評価】

・ごちそう作りや人形あそびなど気の合う友だちや保育者と一緒に会話を楽しんだり、玩具のやりとりをしたりしながらごっこ遊びを楽しんでいる。